

## 【研究内容】

<p><b>【手立て①】</b> 自分の感覚を十分に働かせるための、<b>材料や用具と向き合う時間の設定</b>と<b>児童の気づきに共感する教師の働きかけ</b></p>	<p><b>【手立て②-1】</b> 表したいことを見つけるための、<b>「自己決定のきっかけづくり」</b></p>	<p><b>【手立て②-2】</b> 自分の見方や感じ方を深めるための、<b>「対話を生み出す」工夫</b></p>	<p><b>【手立て③】</b> つくりだす喜びを味わい、夢中になって活動する児童を育成するための、<b>「語る」場の設定</b></p>
<p><b>① 材料や用具と向き合う時間の設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>材料と十分関わる時間の設定（色や形、触り心地）</li> <li>児童が見つけた造形的な表現方法を紹介する時間の設定</li> </ul> <p><b>② 発問や切り返しの工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実態把握の問い</li> <li>価値づけ・意味づけするための問い</li> <li>考えの明確化を図る問い</li> <li>「思い」の誘発する問い</li> </ul> <p><b>③ 児童の気づきに共感する教師の関わり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>共感的な声かけ</li> <li>児童の気づきを確かめ合う働きかけ</li> <li>つまずきや困り感を共有する教師見本の提示</li> </ul>	<p><b>① 授業導入の工夫</b></p> <p>○身近なものを見つめ直す活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象を大きくしたり、小さくしたりするICT 端末の活用</li> <li>2枚の板紙をきっかけに、折ったり、切ったりできることを考える活動の設定</li> </ul> <p>○自分の感性と向き合う活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「普通の○○」と「へんてこな○○」を比較する時間の設定</li> <li>色や形が豊富な鑑賞用の絵（抽象画）を示す資料提示の工夫</li> <li>体全体を使って動作化する場面を設定</li> </ul> <p><b>② 自己決定を促す環境設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>思いに合わせて、描画材や材料を選択できる環境づくり</li> <li>活動しながら、試行錯誤して創作できる環境づくり</li> <li>新しい形を考えて思考錯誤する活動の設定。（材料の面白さが分かる時間の設定）</li> <li>主題をもたせるための工夫（ワークシートの活用）</li> <li>アドバイスコーナーの設置</li> </ul>	<p><b>① 表したいことを見つけるための工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教師や児童同士が対話する場面の設定</li> <li>つぶやきが自然と聞こえてくる環境の設定</li> <li>思いや意図を引き出せるような声掛け</li> <li>感性や想像力を働かせる板書の工夫（やってみたいこと、想像できること）</li> <li>教師が用意した作品の鑑賞</li> <li>友達のイメージする形や線を見合ったりする時間の設定</li> </ul> <p><b>② どのように表すか考えるための工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然な対話が生まれる材料置き場の設定</li> <li>さまざまな方向から見たり、鑑賞したりできる場の設定</li> <li>作品を吊るす場（ツルース）を設定し、つくりながら見方を広げる環境づくり</li> <li>新しく生み出した形を全体で共有する時間の設定</li> </ul>	<p><b>① 題材設定の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>題材名の工夫（造語（新たなものを創り出す）、ゴールの姿の連想、活動の見通し 等に関連する文言）</li> <li>題材名の掲示の工夫</li> <li>児童にとって一番身近な内容の設定</li> <li>画用紙の工夫（オリジナルの色）</li> </ul> <p><b>② 自分なりの意味や価値を見出すための工夫</b></p> <p>○形や色などとの関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>想像したものについて語らせる場面の設定</li> <li>感じたことを言語化させる時間の設定</li> <li>できた形からストーリーを考える活動の位置づけ</li> <li>毎時間鑑賞の時間の設定（振り返りの時間、ICT 端末を活用した振り返りカード）</li> </ul> <p>○他者との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品に込められたストーリーを語る時間の設定</li> </ul> <p>○材料や環境との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペープサートを活用し、楽しく「思い」を語る仕かけ</li> </ul>

※ 3つの柱は、互いに影響し合い、厳密に分類できるものではありません。